

家庭菜園が食品ロス削減にどうつながるか考えよう

期間目安	1日	費用目安	低
研究タイプ	調査・考察	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

家庭でミニトマトを育てることが、食品ロス（捨てられる食べ物）の削減にどうつながるかを考察します。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- 必要な分だけ収穫できるのでロスが減るのではないかな

 **ポイント：**予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- 食品ロスに関する資料（統計やニュース）
- ノート

4. 手順

- 食品ロスの現状について調べる
- 家庭菜園のメリットを整理する
- 実際に家庭で出た野菜くずや余った量を記録する（可能なら）
- 考察をまとめる

5. 記録シートの例

調べた統計データ	家庭での実践記録

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 出典を明記する
- 自分の家庭の実例を交えると説得力が増す

7. まとめ方・考察のポイント

- 家庭菜園と食品ロス削減の関係についてまとめる

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと
- 参考にした資料：本やウェブサイトなど（あれば）

